



アマチュアオーケストラ

新交響楽団第266回演奏会

The New Symphony Orchestra – 266th Concert

指揮 **湯浅 卓雄**
YUASA Takuo, conductor

オネゲル
Arthur HONEGGER (1892-1955)

夏の牧歌
Symphonic Poem for Chamber Orchestra
“Pastorale d’ été (Summer Pastoral)”, H. 31, 1920

交響曲第3番「典礼風」
Symphony No. 3 “Liturgique”, H. 186, 1946

ストラヴィンスキー
Igor STRAVINSKY (1882-1971)

バレエ音楽「春の祭典」
Le Sacre du printemps (The Rite of Spring), 1913

Design: IMAO Keisuke

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

13:00 開場

2024年7月28日 (日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演

Sunday, July 28, 2024, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall (Ikebukuro Station, West Exit)

入場料 S席: ¥3,000 A席: ¥2,000 B席: ¥1,500 (全席指定)

チケットのお申し込み: [teket https://teket.jp/3558/34140](https://teket.jp/3558/34140) このQRコードをご利用ください →
インターネットを利用されない方は 080-9010-0058 (留守電にメッセージを入れてください)



プレイガイド: チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード: 267501

東京芸術劇場ボックスオフィス(1階) 休館日を除く 10:00~19:00 0570-010-296

学生・生徒の方(小中高大・専門学校)は無料でご招待いたします。こちらからお申し込みください →



*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください(予約制・詳細は裏面)。

*新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyo.com/> 演奏会案内や曲目解説、これまでの活動記録などがご覧になれます。

驚天動地の前衛音楽—ストラヴィンスキー「春の祭典」

初演のパリ、冒頭のえらく高音域でのファゴット・ソロで失笑が起きた。その後も強烈なリズムと衝突和声の連続に客席の騒ぎは収まらず、このままでは公演を続行できない。劇場支配人は照明を点灯して収拾を図ったという。それでも欧州大戦勃発の前年、時代は大きく変わりつつあった。実は当時も決して「酷評一色」ではなく、美術や振付も含むこの作品への賞賛は、むしろ少し経ってから目立っていく。いずれにせよ、あまりに大きな「衝撃」が人々を戸惑わせたものの、時代を画する芸術を目の当たりにした興奮も大きかったに違いない。

前半はオネゲルの2曲。「夏の牧歌」は28歳の佳品で、両親の故郷—ユングフラウを間近に望むヴェンゲン村の清澄な空気感を描いたものである。もうひとつは「典礼風」と標題の付いた交響曲第3番。第一次大戦が終わり、その痛恨事から生まれたパリ不戦条約も空しく、ドイツのポーランド侵攻でさらに規模の大きな世界大戦が始まった。最大級の蛮行がもたらした無残な結果を前に、作者がどのような思いでこの「鎮魂の典礼」を書き上げたのか。戦後80年を迎えて忘れがちな現代人ではあるが、現今の世界情勢はまだそれを許さない。(K. I.)

今後の演奏会予定

<第267回演奏会>

2024年10月12日(土) 18時 すみだトリフォニーホール
指揮:坂入健司郎 曲目:ルトスワフスキ/小組曲、ヤナーチェク/「利口な女狐の物語」組曲、ブルックナー/交響曲第4番

<第268回演奏会>

2025年1月5日(日) 14時 ミューザ川崎シンフォニーホール
指揮:城谷 正博 曲目:ワーグナー/「ジークフリート」第3幕第3場他全幕より抜粋 演奏会形式 片寄純也(ジークフリート) 池田香織(ブリュンヒルデ) 升島唯博(ミーメ)

<第269回演奏会 芥川也寸志生誕100年>

2025年4月19日(土) サントリーホール 指揮:坂入健司郎

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、施設内の託児室をご利用いただけます。土日祝日を除く公演日一週間前までにご予約ください。対象年齢:生後3ヵ月から小学校入学前、1公演あたり2,200円(税込) お問い合わせ:株式会社ミラクス ミラクスシッター、電話0120-415-306(平日9:00~17:00、土日祝日休み)

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。現在、20代~80代の約100名が所属しています。

練習日程

原則として毎週土曜日の18~21時に行います。月に1回程度、日曜または祝日(基本的に昼~夕刻)にも練習があります(日程は半年ほど前には決定されます)。クラシックスペース☆100

(大久保)や東京芸術劇場(池袋)をはじめ、東京23区内の施設を利用しています。

オーディション

入団に際してオーディションがあります。年8回ほど、原則として土曜の16時から行っています。直近では5/25、6/29、8/31に開催予定です。詳細はお問い合わせください。各パートの課題曲の一部はHPにて公開しております。

入団を希望する方は、まず一度練習見学にお越しいただき、説明を受けたうえでオーディションをお申込みください。練習見学の希望は、お名前・連絡先・楽器(パート)・簡単な自己紹介を添えてshinkyomusic.nifty.jpまでお送りください。

新響の魅力

①充実した音楽体験

自主演奏会はアマチュアとしては破格の年4回! 一流の指揮者陣で、意欲的な曲目に取り組みます。加えて、団員有志による年2回の室内楽コンサートや、依頼演奏会への出演なども。

②充実した練習

8割以上の出席率をキープ! 1シーズンの練習は平均13回、合奏と分奏をバランスよく取り入れ、2~3ヵ月の短期間で集中的に成果を出しています。原則として合奏・分奏ともに第一線のプロが指導にあたります。

③充実した団楽器・運搬システム

コントラバス、各種打楽器、コントラファゴットやワーグナーチューバなど多様な特殊管、チェレスタなどを団楽器として所有しており、使用できます。練習場までは専門業者のトラックで毎回運搬しています。

④安定した運営

1956年の結成以来、2024年3月時点で264回もの自主演奏会を開催し、ノウハウを培ってきました。安定した運営システムにより、意欲的な演奏会を企画しています。

毎月の「合同委員会」には誰でも参加でき、団の運営方針や選曲に関して積極的に意見を出し合っています。大学生から在団歴50年越えの大ベテラン団員まで、別け隔てなく意見を出し合える雰囲気も魅力です。

♪ 公式HP <http://www.shinkyomusic.com>

♪ X(旧Twitter) @shinkyomusic_tokyo

♪ Instagram @shinkyomusic_pr

♪ Facebook <https://www.facebook.com/shinkyomusic.tokyo/>

維持会のご案内 ~良いお席を安く~

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座:00130-0-28074「新交響楽団維持会」